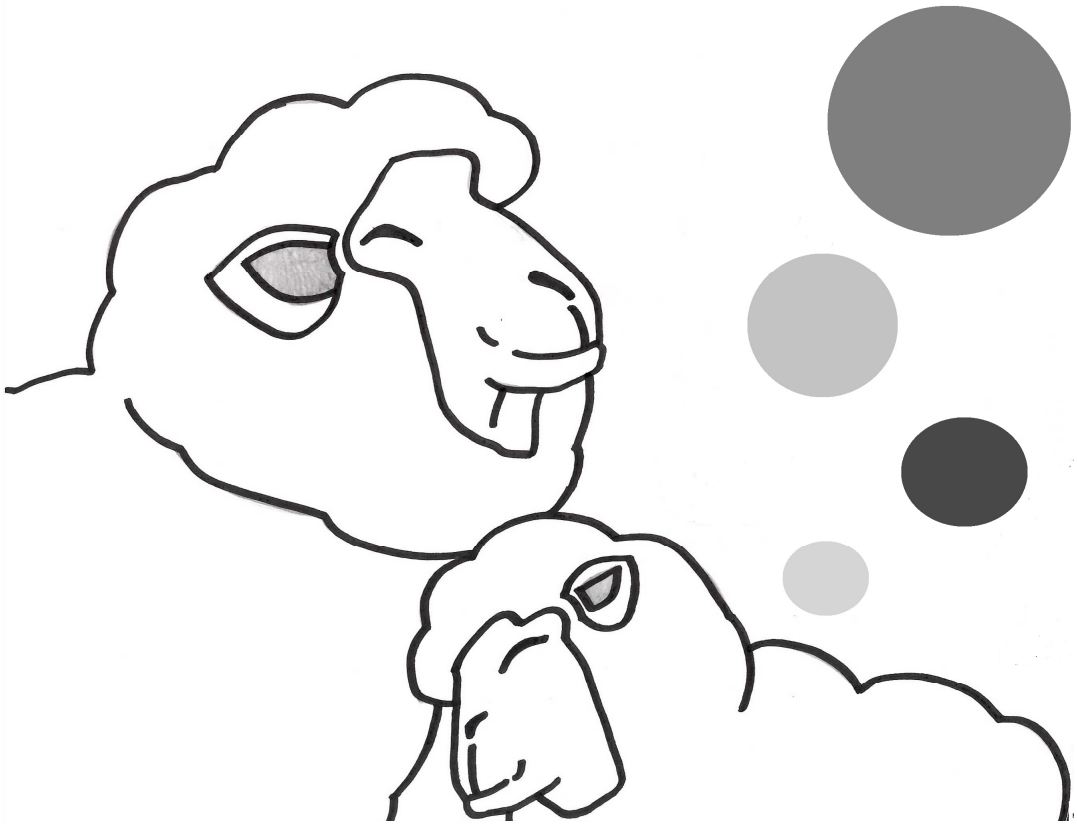
エコプレス　１月号

暮らしの CO_2 ダイエットニュースレター

平成２７年１月１５日発行

発行：アジェンダ２１すいたエネルギー部会
編集：関西大学良永ゼミ



あけましておめでとうございます。
家族の安泰と平和の象徴である“羊”。
“未”年である今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
さて１月号はアジェンダ２１すいたの「すいたエコウォーク」など盛りだくさんの内容です。最後まで楽しんで読んでいただけたらと思います。

CONTENTS

- 表紙　…1
- 絶滅の危機！ニホンウナギ　…2
- 岡山県真庭市バイオマスツアーに行ってきました　…3
- 「食」から環境を考えよう　…4
- すいたエコウォーク　エコ歩きでえ～ことあるよ　…5
- 大阪ガス実験集合住宅　ＮＥＸＴ21　…6
- 映画紹介　…7
- イベント紹介　…8

絶滅の危機！　ニホンウナギ

環境問題において私たちの生活に一番身近に関わってくる問題、生物多様性。
今回私たちは最近話題となっているウナギにフォーカスを当ててみました。

なぜ絶滅の危機に？

ＩＵＣＮ（国際自然保護連合）が発表しているレッドリストの最新版（2014 年）においてニホンウナギが絶滅危惧種として掲載されました。近年の科学的な調査によって、ニホンウナギの３世代（３０年間）の個体数の減少が５０％以上という基準などにあてはまったことから判定されました。

原因としては、乱獲や生息地の環境悪化、海の回遊ルートの障害、海流変化などが指摘されています。これまでに世界中で 4 種のウナギがレッドリストに入っていますが、新たに 8 種が加わり、合計 12 種のウナギがリストに入りました。そのうち、これまで記載されていたヨーロッパウナギ、そしてニホンウナギ、ボルネオウナギの３種が絶滅危惧種となり、4 種が準絶滅危惧種となりました。ニホンウナギが分類されているのは絶滅危惧種の中の絶滅危惧ＩＢ 類です。これは全体の中では 4 番目の危険度になります。

【参考】レッドリストカテゴリー（ランク）の概要

絶滅（EX）	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	
野生絶滅（EW）	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種	
絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	**絶滅危惧ⅠA類（CR）**	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類（EN）	ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅の危険が増大している種	
準絶滅危惧（NT）	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	
情報不足（DD）	評価するだけの情報が不足している種	
絶滅のおそれのある地域個体群（LP）	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	

※太枠内が絶滅のおそれのある種（絶滅危惧種）

ウナギを守るためには・・・

ニホンウナギを絶滅させないように活動することが国際的にも求められています。ただ、危機にある種だと広く認められるため、野生生物の国際取引に関するワシントン条約で規制対象になる可能性が高まっています。2016 年に予定されているワシントン条約締結国会議で規制対象になれば、商業目的の国際取引や公海でのニホンウナギの水揚げが規制されたり、禁止になったりする可能性もあります。そうなれば、将来的に稚魚やかば焼きの輸入が制限される事態も予想されます。

ニホンウナギの保全については、国による国際的な資源管理の枠組みの構築や、県による漁獲調整、研究者による生態調査や養殖技術の開発など、さまざまな主体により進められています。日本人にとって身近な生きものであるニホンウナギにも絶滅のおそれが高まっている状況から、私たちは改めて生物多様性という自然の恵みの中で生きており、身近な自然を守り、共存していくことが重要であることを認識しなければなりません。

岡山県真庭市
バイオマスツアーに参加してきました

私たち良永ゼミは、発電に身の回りの資源を有効利用しようといった研究を行っています。この研究の一環としてエネルギーの地産地消の実現を目指す岡山県真庭市のバイオマスツアーに参加してきました。

真庭市の取り組み

真庭市は豊富な森林資源と盛んな林業という地域性を活かして、木質バイオマスを中心としたバイオマス事業に取り組んでいます。主な取り組みとして、市役所の冷暖房は木材を燃料としたボイラーで賄っていることや木質バイオマス発電所の建設、そして、バイオマスツアーの運営を行っています。

木質バイオマス発電とは？？

木質資源を燃焼し、その際に発生した蒸気でタービンを回転させ、電気を作る発電方法です。木質資源を燃焼する際に二酸化炭素を排出しますが、木質資源は成長過程に光合成により空気中の二酸化炭素を吸収しているため、火力発電より環境に優しい発電と考えられ、再生可能エネルギーのひとつとされています

バイオマスツアーで学べること

このバイオマスツアーは、バイオマスを通じた地域づくりの情報発信、観光事業の振興という、「顔の見える産業観光」をコンセプトとしたツアーになっています。このツアーを通して、市内のバイオマス事業やバイオマスとはどういったものなのか？などのバイオマスに関することだけでなく市内の名物や名所にも触れることができます。

ツアー内容

①真庭市でのバイオマス事業の説明
②市内で昼食、散策
③市内の木質バイオマス関連企業視察
④市役所内にあるチップ・ペレットボイラーの見学
⑤木材の集積所の視察

おわりに

日本は森林大国であり、多くの木質資源が存在します。それらを有効活用し、電気などのエネルギーを得ることは、エネルギーの地産地消につながります。今後、太陽光発電や風力発電に加え、木質バイオマス発電も利用していくことで、環境に優しい持続可能な社会の実現に繋がるのではないでしょうか。

「食」から環境を考えよう。

近年は大手企業の食品産地偽装問題や中国産鶏肉の賞味期限切れ問題といった安心安全に関するテーマに注目が集まっています。今回は改めて地産地消について考えてみました。

地産地消とは？

私たちが暮らす地域で生産されたものを食べること。旬のものを食べることも含まれています。

地産地消のメリット

①新鮮で栄養価の高い食材を買うことができる。
②地域に会った旬の食材を作ることで環境への負荷が減る。
③地域の食文化を守ることにつながる。

季節はずれの野菜を作る為には、温度を調節するためにエネルギーを必要とします。例えば、トマト１個を作るのに、ハウス栽培では露地栽培の１０倍ものエネルギーが必要だと言われているのです。これは、私たちが旬の食べ物を食べていれば使わずにすむエネルギーなのです。

また最近は地産地消を少し進めた考え方として、適地適作が進められています。これは土地が持つ風土にあった食物を自然に育てることです。例えば、京野菜は京都で育てられたものの方が、それ以外の地域で育つものよりも栄養価が高いことがわかっているのです。

こんな取組も・・・

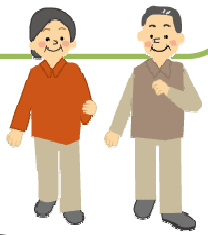
京都市では京都料理組合の方々にご協力をしていただき、京野菜を使った「朝ご飯」をテーマにした料理教室が開催されています。

安心安全と地域の伝統、そして環境とも深い関わりをもつ地産地消。
まずは、食材の産地を見ることから始めてみませんか。

アジェンダ２１すいた　ﾌﾗｯｸﾞｼｯﾌﾟﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ「歩きたくなるまちづくり」

第２回　すいたエコウォーク

エコあるきで、え～ことあるよ！



平成 26 年 11 月 15 日（土）、アジェンダ 21 すいたのフラッグシッププロジェクト「歩きたくなるまちづくり」にちなんだイベント「すいたエコウォーク」に参加しました。

豊津コース（約３ｋｍ）

阪急豊津駅前をスタートし、今春開校した大和大学を抜けて、ゴールを目指します。

私たちが参加した豊津コースでも、様々な取り組みがみられました♪
まず、市民の人々を自然災害から守るために設置された…

防災セーフティーロード（西の庄）

防災セーフティーロードは、災害時に役立つ仕組みがコンパクトに組み込まれています。

① 参加者が腰かけているのは、西の庄公園に設置されている「収納ベンチ」です。人命救助に使う道具が入っています。
② 吹一公園に設置されている「カマドベンチ」です。ベンチの中にはご飯を炊く釜が隠されています。

感想

私たちは今回参加するのは２回目だったのですが、前回よりも参加人数が多く、コースも３つに分かれていました。そのため、世代を超えた交流ができ、とても楽しかったです！他の班にも、他大学から参加している学生さんもいて、第３回もより多くの人に参加してもらいたいなと思いました！

良永ゼミでいってきました！（アジェンダ２１すいたエコツアー）

大阪ガス実験集合住宅　NEXT21

ＮＥＸＴ２１とは…

近未来の都市型集合住宅の在り方について、**環境・エネルギー・暮らし**の面から実証、提案する目的で 1993 年に建設された実験集合住宅

NEXT21 では、これからも進んでいく少子高齢化に対応した住宅実験が行われていました！！

・4G　HOUSE
～4 つの世代・４人の女性　～

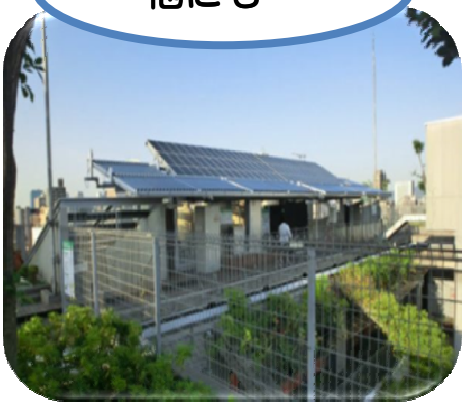
「新しい世帯構造に対応した住まいのかたち」がコンセプトになった部屋。
　「祖母・母・私・娘」と４世代の女性が住む設定で、お互いに支え合い、世代間を継ぐ住まいとなっていました！！！

（間取り図はいずれも住宅パンフレットより）

・プラスワンの家
～1.5 世帯の新しいマンション暮らし～

「住み続けられる、変わらない家」がコンセプトになった部屋。
　集合住宅は普通１世帯に向けて作られていますが、稼働式の壁で部屋を仕切ることができ、「夫婦＋娘」や「夫婦＋祖母」または「夫婦＋賃貸」というように誰かとシェアしながら住める住まいになっていました！！

他にも…



屋上では、太陽熱パネルが設置され、停電時でも電気を使えるようにガスエンジンコジェネレーションが設置されていました。そして、太陽熱とコジェネレーションの排熱を冷暖房に利用しりなど、様々な工夫がされていました。

その他にも、屋上緑化による日射の遮蔽や水分蒸発効果で蓄熱を抑制されていました。また、バイオガス発生装置もありました。

ありあまるごちそう

監督　エルヴィン・ヴァーゲンホーファー

映画紹介

「ありあまるごちそう」は、世界に根深く存在する飢餓を解消するために必要なのは、現在の流通メカニズムの理解と流通の変化であると考えて作られた作品で、ヨーロッパを中心にどのように食糧が流通していくのかを観察し、それと飢餓がどう関係してくるのかを考察している映画です。

例えば、オーストリアの首都ウィーンで毎日廃棄される大量のパンはオーストリア第２の都市グラーツの市民全員が食べるのに十分なほどの量です。そして、そのパンの原料となる小麦の５分の４はインドからの輸入品ですが、国連の統計ではインドには約２億人もの人が栄養失調で苦しんでいるそうです。

また、世界には多くの人が飢餓で苦しんでいるのにヨーロッパでは小麦や大豆を暖房用に利用されているそうです。

出典：「ありあまるごちそう」公式ＨＰより
http://www.cinemacafe.net/official/gochisou

～ありあまるごちそうを見てみて～

今回「ありあまるごちそう」を見て、私たちの食生活は本当に大量廃棄大量生産で成り立っているものだと改めて気づきました。その反面、世界では多くの人が飢餓に苦しんでいるという事実があり、今一度自分の食生活を考え直す良い機会となりました。

無駄なものは買わない。多く作りすぎない。すごく小さなことからでもはじめることが大切であると感じました。

身近な食の問題なのでぜひ見て下さい。

イベント案内

すいた環境教育フェア　～次世代につなごう　環境の絆～（入場無料）

クイズラリー、パネル展示、リユース図書の配布、工作など、大人も子どもも楽しめる催しがたくさん！ぜひ、足をお運びください。

◆日時／平成２７年１月３１日（土）１０時～１５時３０分

◆会場／メイシアター（吹田市文化会館）

◆主催／すいた環境教育フェア実行委員会

◆問合せ／同実行委員会事務局（吹田市環境部環境政策室内）TEL：06-6384-1702）

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ２１すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。

暮らしの CO_2 ダイエットをはじめ、様々な取組みを実践しています。

あなたも一緒に活動しませんか。

- 個人会員：１,０００円／年
- 団体会員：５,０００円／年
- 賛助会員：１口１,０００円／年
- 準会員：無料

入会希望の方は、アジェンダ２１すいた事務局まで

【アジェンダ２１すいた事務局】

〒564 - 8550

吹田市泉町１－３－４０

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900

エコプレス　１月号

発行：アジェンダ２１すいたエネルギー部会

〒564－8550　吹田市泉町１－３－40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL06－6384－1782

FAX06－6368－9900

編集：関西大学　経済学部　良永ゼミ

- 表紙…太田
- 絶滅の危機！ニホンウナギ…河合・谷川・橋添
- 岡山県真庭市バイオマスツアー…木下・宮川・武内
- 「食」から環境を考えよう…小笠原・上野・田上
- すいたエコウォーク…南波・山本花
- 大阪ガス実験集合住宅ＮＥＸＴ21…加村・小西・山本理
- 映画紹介・・・近藤

暮らしの CO_2 ダイエット協力団体・企業

大阪トヨペット株式会社吹田	エコ・アクション	関西大学経済学部良永ゼミ

編集後記

★身近に住む生き物たちがいなくなってしまうことによってどのように我々人間に影響を及ぼすのかもっと真剣に考えていくべきであると感じ、手遅れになってしまう前にきちんとした対策をとっていくべきであると感じました。（河合・谷川・橋添）

★身の回りの資源を有効利用し発電するという研究目的で、今回木質バイオマスツアーに参加させて頂きましたが、勉強するだけでなく、真庭市内の観光もすることが出来たので、とても充実したツアーでした。（木下・宮川・武内）

★今回、近年起こっている食品産地偽装問題や中国の賞味期限切れ問題といった安心安全に関するテーマに注目が集まっていることを踏まえ、地産地消を取り上げてみました。安心安全と地域の伝統、そして環境にも深い関わりをもつ地産地消。まずは食材の産地を見ることから始めていくことが大切ではないかと思います。（小笠原・上野・田上）

★身近な食生活の裏には多くの問題があります。少しでもみなさんが問題意識を持って頂けたらと思います。とても見やすい作品ですので、是非一度見て頂きたいです。（近藤）

★いろいろな世代の方と合流でき、吹田市のことについて深く知ることができたので良い経験になりました！（南波・山本花）

★私たちがゼミで研究してきたコジェネレーションやスマートグリットが、こうして実際に住宅に活用されていることを知り、コジェネやスマートグリットが有益であることを再確認できました。この仕組みが周辺に住む人たちの間で効率出来に使われるようになれば、私たちの考えるエコな生活を実現できるはずです。みなさんもエコに少しでも興味を持ってみてはどうですか？　（加村・小西・山本理）